

10 月 30 日：VN 指数は停滞して推移 (VN-Index -0.25%)

- 昨日の上昇の流れを引き継ぎ、VN 指数は上昇して取引を開始した。
- しかし、寄り付き後は売り方に押され、指数は下落基調での推移となった。
- 後場、買い戻しの動きが確認されたが続き、最後までプラスに転じることはなかった。
- セクター別では、メディアや旅行・レジャーが好調だった一方、不動産や金融が下落した。
- 163 銘柄が上昇、210 銘柄が下落、74 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は低下し、前日比 32.6%減の 12.7 兆ドンとなった。

VN30 指数も反落 (VN-30 -0.14%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、8 銘柄が上昇、17 銘柄が下落、5 銘柄が変わらずであった。
- STB (+2.20%) や VIB (+1.33%)、TCB (+1.05%) が 1%超上昇した。
- VHM (-3.74%) や SSI (-1.31%)、PLX (-1.19%)、VNM (-1.04%) が 1%超の下落幅となった。

セクター・個別株の動き

- VRE (+0.28%) は 2024 年第 3 四半期決算を発表。売上高は 2 兆 777 億ドン（前年同期比 37.7%減）、税引後純利益は 9,064 億ドン（同 31.2%減）となった。主に、在庫物件の販売による収益が 356 億ドン（同 97.3%減）に急減したことが要因。
- MWG (-0.75%) は 2024 年第 3 四半期決算を発表。売上高は 34 兆 1,467 億ドン（前年同期比 12.7%増）、税引後純利益は 8,060 億ドン（同 20.7 倍）となった。再編戦略に伴う店舗運営費の最適化などが奏功し、粗利益率は 20.2%（同 1.5ppt 増）に向上した。

- 外国人投資家は 1,441 億ドルの売り越しとなった。売り越し銘柄では MSN (+0.13%) が最も売られ、買い越しでは VPB (0.00%) が最も買われた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。